

廃棄食用油の収集→
バイオ燃料製造までの装置

バイオ燃料製造設備&関連装置

特 徴

- 30kl/dayの製造設備の場合、化石燃料使用量で約1万kl/年、CO₂排出量で約3万t/年の削減を実現
- 200L～30000L/dayまで様々なスケールに対応、EVAPORATORで2次廃棄物のグリセリンを精製し商品化

概 要

(技術の原理・動作等)

①移動式収集運搬装置

フォークリフトなどで荷台に積み下ろしが可能なエンジンポンプ式運搬装置です。



移動式収集運搬装置

②連続式バイオディーゼル燃料製造装置(10000～30000L/24H)

連続式2段反応型アルカリ反応方式で攪拌・反応・分離・洗浄・精製などの各工程を約20の装置で構成しています。



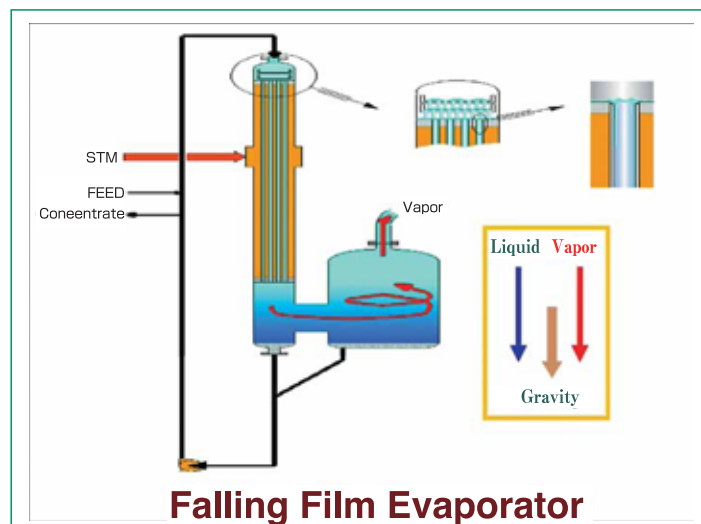
収集運搬の様子

③バイオディーゼル燃料製造装置(200～2000L/バッチ)

アルカリ法や酵素法など外部環境や運転状況にあわせて最適なものを提案いたします。

④EVAPORATOR

蒸発方式によって二次廃棄物より精製グリセリンを抽出します。また、BDFの品質向上のための蒸発式精製もご相談に応じます。



EVAPORATOR原理図

導入実績

■ 移動式収集運搬装置

日本において、17台が稼働中

■ 連続式バイオディーゼル燃料製造装置

日本最高品質・最大規模の富山BDF(12000L/24H)にて稼働中

■ バッチ式バイオディーゼル燃料製造装置(200～2000L/バッチ)

日本において、4台が稼働中

効 果

アジア地域でのバイオディーゼル燃料事業の問題点を解決します。(コンサルティング)

◎移動式収集運搬装置

外食・ホテル・スーパーなどの廃食用油を効率的に収集運搬を行う装置を使用すると、荷卸しや抜缶などの設備が不要となります。

◎連続式バイオディーゼル燃料製造装置

少ないスペースで高品質な多くの量のバイオディーゼル燃料を製造することが可能です。

◎バッチ式バイオディーゼル燃料製造装置

食品工場では排出される廃食用油をオンサイトで燃料化、コスト削減・CO₂排出量削減を行います。

◎EVAPORATOR

二次廃棄物からの精製グリセリンの抽出によって製造コストの削減が可能となります。

Energy and Biomass

BDF Production Plant

● Medium scale(continuous flow system)



● Small scale(batch system)



バイオディーゼル燃料製造装置

浜田化学株式会社 経営企画室 〒650-8670 兵庫県尼崎市東海岸町1の4

● TEL / 06-6411-3457 ● FAX / 06-6411-8200 ● E-Mail / info@hamadakagaku.co.jp ● WWW.hamadakagaku.co.jp

適用分野
食品工場、スーパー、ホテル
バイオ燃料製造設備

水

省エネ・エネルギー回収

エネルギー
蓄エネ・創エネ

新エネルギー

廃棄物処理
再資源・省資源

大気

土壌

その他